

- 問1 中国における農業の特色について、北東部から中東部にかけての比較的降水量の少ない地域で、主食の原料として盛んに生産されている農作物を答えなさい。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 天然ゴム 2. 米 3. 小麦 4. 茶
-
- 問2 中国南部の沿岸部に位置し、かつては小さな漁村であったものの、1980年に特定の経済政策が適用される地域に指定されたことで、現在は世界有数のハイテク産業が集積する大都市へと急成長した都市として、最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. シェンチェン（深圳） 2. ペキン（北京） 3. ラサ 4. ウルムチ
-
- 問3 総人口に占める65歳以上の人口の割合を高齢化率と呼びます。この高齢化率が7%から14%に達するまでにかかった期間を比較した際、フランスが115年を要したのに対し、韓国は18年、シンガポールは21年、日本は24年という統計が出ています。このデータから読み取れるアジア諸国の高齢化の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. アジア諸国は医療技術が非常に発達しているため、ヨーロッパ諸国よりも高齢化率の上昇が緩やかである。
2. ヨーロッパの先進諸国が長い年月をかけて経験した高齢化を、アジア諸国は極めて短期間で経験している。
3. アジア諸国では若年層の人口が急増しているため、高齢化率が14%に達するまでの期間が長くなっている。
4. フランスなどのヨーロッパ諸国は、アジア諸国に比べて高齢化対策を短期間で完了させてきた歴史がある。
-
- 問4 新興工業国の経済成長に関する記述として、人口と一人あたり国民総所得（GNI）の変化、および市場の関係について述べたものとして正しいものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
1. 人口が増加しても、一人あたり国民総所得が停滞していれば、購買力が向上するため市場として急成長する。
2. 人口と一人あたり国民総所得の双方が減少することで、国外への輸出に依存しない、購買力の高い自立した市場が形成される。
3. 人口が減少し、一人あたり国民総所得が向上することで、労働集約的な産業の生産拠点としての重要性が増す。
4. 人口が増加し、一人あたり国民総所得が向上することで、その国は巨大な消費市場としての側面を強める。
-
- 問5 中国で長年実施されてきた「一人っ子政策」は、2015年に廃止されることが決定し、現在は出産を制限するのではなく、むしろ奨励する方針へと転換されています。このように政策が大きく変更された要因として、現在の中国が直面している社会課題を説明したものを選びなさい。（2025年 奈良県公立入試 類似）
1. 人口が急激に減少した結果、食料の過剰生産と価格の暴落が深刻な問題となったため
2. 少子高齢化が急速に進行したことで、将来の労働力不足が懸念されるようになったため
3. 海外からの移住者が急増し、国内の人口構成を維持するために出生率を上げる必要が出たため
4. 都市部での失業率が改善したため、労働力を確保するために人口増加が必要になったため
-
- 問6 夏の南アジアでは、インド洋から湿った風が吹き込みます。この風が北部に位置するヒマラヤ山脈にぶつかすることで、山脈の南側にあたる地域ではどのような状況が生じますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 海からの冷たい風の影響で、夏でも気温が氷点下になる
2. 上昇気流が抑えられ、一年を通じて全く雨が降らなくなる
3. 山を越えた乾燥した風が吹き下ろし、広大な砂漠が広がる
4. 湿った空気が山に沿って上昇し、世界有数の降水量となる
-
- 問7 アジア南部の地形の特徴を示した資料において、インド亜大陸の北側にそびえるヒマラヤ山脈が、周辺地域の自然環境に与えている影響についての説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. インド洋からの湿った季節風（モンスーン）を遮るため、山脈の南側では雨が多く、北側の内陸部では乾燥した地域が広がっている
2. 北極側からの冷たい空気を完全に遮断するため、アジア全域が一年中温暖な熱帯気候となっている
3. 険しい高山地帯であるため、山脈の周辺一帯は居住が不可能であり、アジアにおいて人口が最も希薄な地域となっている
4. 南北に長く走る巨大な山脈が障壁となり、インドと中国の間の文化交流が歴史を通じて完全に行われなかった要因となった
-
- 問8 ある国に関する統計データを確認したところ、2019年時点での人口密度が1平方キロメートルあたり約358人と高く、日本への主な輸出品として「機械類」「果実」「木製品」が挙げられていました。この国として当てはまる名称はどれですか。（2024年 青森県公立入試 類似）
1. 韓国 2. フィリピン 3. オーストラリア 4. カナダ
-
- 問9 インドの言語政策について、憲法で定められた連邦公用語と、歴史的背景から広く使用されている準公用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 連邦公用語：タミル語、準公用語：スペイン語
2. 連邦公用語：ベンガル語、準公用語：英語
3. 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：フランス語
4. 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：英語
-
- 問10 東南アジアなどの温暖な地域で広く行われている、同じ土地において1年のうちに同じ農作物（主に稲）を2回収穫する栽培方法を何といいますか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 二期作 2. 促成栽培 3. 転作 4. 二毛作
-
- 問11 世界の諸地域の地形に関する記述のうち、インド北部に位置する広大な高地や険しい山脈が、周辺の環境や生活に与える影響や背景として正しいものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 安定した古い地層からなるなだらかな高原であり、大規模な機械化農業や牧畜が広く行われている。
2. プレーートの衝突によって形成された標高8000mを超える山脈が、北側からの冷たい空気を遮り、南側の地域に高温多湿な気候をもたらす要因となっている。
3. 環太平洋造山帯の一部として火山活動が活発であり、豊富な地熱エネルギーを利用した発電が地域の主力産業となっている。
4. 氷河による浸食によって形成された複雑な海岸線（フィヨルド）が発達しており、古くから天然の良港として利用されている。
-
- 問12 東南アジアのインドシナ半島に位置するタイでは、人々の生活や文化に特定の宗教が深く関わっており、世界の宗教別人口構成においても重要な割合を占めています。タイにおいて、国民の約9割以上が信仰している最も主要な宗教は何ですか。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. キリスト教 2. 仏教 3. イスラム教 4. ヒンドウ教
-
- 問13 中国の人口構成の変化に関する記述として、将来的な「労働力不足」の主な要因とその背景にある状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 人口爆発による食糧不足を懸念し、政府が製造業から農業へ労働力を強制的に移動させている。
2. 15歳から64歳の生産年齢人口が減少に転じることで、工場の働き手が確保しにくくなる。
3. 65歳以上の老年人口が急激に減少し、高齢者を対象としたサービス業の労働者が余っている。
4. 若年層の人口が急増した結果、安価な労働力が市場に溢れ、熟練労働者が不足している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 小麦	中国では「南稲北麦」という言葉があるように、降水量の多い南部では米（稲作）が、降水量の少ない北部や中東部では小麦（畑作）の栽培が盛んです。自然環境の条件に合わせて、アジア州の主要な生産地としての役割を果たしています。
問2	答え 1 シェンチェン（深圳）	シェンチェン（深圳）は、ホンコン（香港）に隣接する地理的条件を活かして、中国で最初に経済特区に指定された都市の一つです。選択肢のラサやウルムチは内陸部の自治区に位置する都市であり、沿岸部の経済特区とは成り立ちが異なります。シェンチェンは現在、IT産業などが非常に盛んな都市として知られています。
問3	答え 2 ヨーロッパの先進諸国が長い年月をかけて経験した高齢化を、アジア諸国は極めて短期間で経験している。	フランスなどのヨーロッパの先発工業国は、100年以上という長い時間をかけて緩やかに高齢化が進行しました。これに対して、日本や韓国、シンガポールといったアジアの国々では、わずか20年前後という非常に短い期間で高齢化率が倍増しています。このように、アジア諸国では欧米諸国がかつて経験したことのないスピードで高齢化が進んでいる点が地理的な特徴です。
問4	答え 4 人口が増加し、一人あたり国民総所得が向上することで、その国は巨大な消費市場としての側面を強める。	経済発展が進む地域では、人口の増加が消費者の母数を増やし、さらに一人あたり国民総所得の向上が個人の消費水準を押し上げます。これら「人口」と「所得」の増加が同時に起こることで、それまで安価な労働力を提供する場所だった「生産拠点」が、高付加価値な商品も売れる「市場」へと成長します。人口減少や所得の停滞は、市場の縮小や購買力の低下につながるため、成長の要因とはなりません。
問5	答え 2 少子高齢化が急速に進行したことで、将来の労働力不足が懸念されるようになったため	長期間にわたる厳格な人口抑制の結果、中国では世界でも類を見ないスピードで少子高齢化が進みました。働き手となる生産年齢人口が減少に転じたことは、今後の経済成長を維持する上での大きなリスクとなったため、政府は政策を転換して多子化を容認・推奨するようになっていきます。
問6	答え 4 湿った空気が山に沿って上昇し、世界有数の降水量となる	インド洋から吹く夏の季節風（モンスーン）は、大量の水蒸気を含んでいます。この湿った空気が高いヒマラヤ山脈に突き当たって強制的に上昇させられることで、発達した雨雲が作られ、山麓の地域には非常に激しい雨が降ります。
問7	答え 1 インド洋からの湿った季節風（モンスーン）を遮るため、山脈の南側では雨が多く、北側の内陸部では乾燥した地域が広がっている	標高の極めて高いヒマラヤ山脈は、湿った空気を運び季節風を上昇させる壁の役割を果たします。その結果、風上となる南側のインド周辺では多量の雨が降りますが、山脈を越えた北側のチベット高原などには湿った空気が届かず、乾燥した気候になります。このように地形が気候の境界線となっている点は、地理の学習において非常に重要です。
問8	答え 2 フィリピン	フィリピンは東南アジアの島国であり、人口が増加し続けているため人口密度が高いのが特徴です。日本との貿易では、バナナやパイナップルなどの果実のほか、工業化に伴い集積回路などの機械類の輸出も多くなっています。韓国は人口密度が高い点は共通していますが、熱帯性の果実輸出は特徴的ではありません。カナダやオーストラリアは面積が広大で、人口密度は低い国です。
問9	答え 4 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：英語	インドでは、主に北部を中心に話されているヒンディー語を連邦公用語と定めています。同時に、植民地時代の歴史的経緯から、共通語としての利便性が高い英語が準公用語として認められ、ビジネスやIT産業の発展を支える要因にもなっています。
問10	答え 1 二期作	温暖な気候を利用して、同じ土地で年2回、同じ作物（稲など）を育てる仕組みを指します。一方、同じ土地で1年のうちに異なる2種類の作物（例：米と麦）を育てる場合は「二毛作」と呼ばれ、これらは入試で非常によく比較されるため区別が必要です。また、別の作物に作り替えることは「転作」、成長を早めて出荷時期をずらす工夫は「促成栽培」と呼ばれます。
問11	答え 2 プレート	ヒマラヤ山脈は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートがぶつかり合う境界に位置し、現在も隆起を続けています。この非常に高い山脈が障壁となることで、インドをはじめとする南アジアにモンスーンの影響による雨をもたらす一方、山脈の北側にあるチベット高原などは乾燥した気候になるという、大規模な気候区分を決定づける要因となっています。
問12	答え 2 仏教	タイはインドシナ半島の中央部に位置し、伝統的に仏教（上座部仏教）を厚く信仰している国として知られています。東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々の中では、タイやミャンマー、カンボジアなどで仏教が主流である一方、島しょ部のフィリピンではキリスト教、インドネシアやマレーシアではイスラム教が広く信仰されており、地域による宗教の多様性が特徴です。
問13	答え 2 15歳から64歳の生産年齢人口が減少に転じることで、工場の働き手が確保しにくくなる。	中国の人口構成の推移を見ると、かつて「世界の工場」と呼ばれた経済成長を支えた豊富な労働力（生産年齢人口）が、少子高齢化によって減少していくことが予測されています。これにより、特に労働集約的な製造業において、必要な人員を確保できない労働力不足が深刻な課題となっています。